

# 令和5年度 学校評価報告書

学校番号(中12) 長崎市立(梅香崎中)学校

## 1 教育目標

### 校訓 “自主” “協同” “創造”

主体的に行動し、気づく目・感じる心を持ちながら、夢の実現に向かう生徒の育成

\*合言葉:梅中しんか(進化・新化・深化) できる・できる・できる

## 2 学校経営方針

予測困難な社会をたくましく生き抜き、知・徳・体の調和のとれた人間としての特長を最大限に発揮できる生徒の育成を図る。そのために、「個が生きる」人権尊重の精神を基盤にし、地域に根ざした教育活動を実践する。

## 3 重点目標

【自主】

○自分の役割を果たす生徒 ○意見を受け入れ行動に移す生徒 ○献身的に動く生徒 ●自分の考えを表現できる生徒 ●自分事として捉え動く生徒 ●自信をもって動く生徒

【協同】

○元気で気持ちのいいあいさつができる生徒 ○周りに手を差し伸べられる生徒 ○友の考えや意見を大切にす生徒 ●信頼できる関係を築く生徒 ●相手の立場に立って動く生徒 ●仲間を広げ交流できる生徒

【創造】

○夢や目標を堂々と語る生徒 ○夢の実現に向けて努力する生徒 ○地域や母校を愛する生徒 ●あきらめず継続して取り組む生徒 ●場面に応じて行動・表現できる生徒 ●見通しを持ち準備できる生徒

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	86	89	100	□年5回実施している校訓追求評価においても、12月末(IV期)ですべての重点項目の目標を達成した。 □業務の改善は、見通しをもった業務推進を全職員が意識することで効率化を図ることができた。早めの取り掛かり、相談・起案をさらに定着させたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	95	91	94	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			75	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			94	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	95	89	100	□全体的に高評価である。 □生活・生徒指導については、毎回の生活アンケートで把握したわずかな生徒の変化も、速やかに管理職、学年主任へと報告ができています。 □引き続き、いじめ防止対策は「初動は素早く」、「手順、段取りは丁寧」、「被害生徒親子への寄り添いを第一に」の徹底を図っていく。いじめの芽についても、個人では決して判断せず組織で対応することを徹底していく。 □総合的な学習の時間を柱に、年間を通して全学年で人権教育・平和教育の取り組み、引き続き、生徒の人権感覚の醸成と平和を創る人への意識高揚に努めていく。 □特別支援教育は、全職員で生徒の実態把握に努め、個別の指導計画に基づき、成果と課題を踏まえた改善と支援の充実を図っていく。
		挨拶をよくしている	92	88	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)				
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	93	81	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	83	83	94	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	98	94	88	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	96	83	100	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	88	90	100		

確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	91	94	100	<input type="checkbox"/> 学校づくりの高評価は、年間を通して実施する校訓追求評価を活かした学校づくりが、生徒・保護者・教職員に定着した結果と捉えている。校訓に沿った重点課題事項に解決に向けた指導・支援体制が確立できている。 <input type="checkbox"/> 学習指導は、年間を通じた重点課題克服に向けた校内研究の成果と捉えている。 <input type="checkbox"/> 家庭学習の取組は、クラウド活用型学習ドリル教材や自主学習の手引き等の活用により個人差がある。引き続き、自立した学び手の育成に向け、授業と家庭学習の連動を強化したい。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	86	78	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	64	56	31	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	95	83	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		91				
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	95	92	81	<input type="checkbox"/> 日々の健康観察や養護教諭が中心となって行うヘルスチェックポイント等を通して、自己の健康に対する関心の高まっている。 <input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣のうち、朝ごはんを食べない生徒が全体の4%程度いる。引き続き、食育等の側面からの「食の重要性」について啓発を行っていく。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	80	64	75	
		体力向上に努めている	89	79	94	
食育	食に関する教育活動を行っている	96	92	100		
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	95	89	100	<input type="checkbox"/> 安全管理の高評価は、老朽化が進む本校の施設・設備で、担当による毎回の確実な安全点検、事務主幹による速やかな業者対応、庁務員による早目の修繕等の成果と捉えている。 <input type="checkbox"/> 年間を通じた校内研修の実施により、職員自身が資質向上を実感できる結果となった。担当職員による受講した講習の全職員への伝達等により、主体性も向上している。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	90	90	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	96	87	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	92	81	69	<input type="checkbox"/> 職員一人一人が見通しをもった業務推進と、任された校務分掌遂行を通して学校運営参画により、手応えを実感した結果と捉えている。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			94	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

この3年間で校訓追求評価(生徒は年3回、職員は年5回)を通じた定期的な成果と課題の実態把握と、改善に向けた具体的な対策の実施が、生徒・職員共に定着している。その好循環により、12月末(第IV期)の校訓追求評価で目標を達成することができた。

地域との関わりについては、「総合的な学習の時間」の「地域学習」の単元において、生徒全員がそれぞれに地域に関する課題を設定し、課題解決に向けた探究活動を進めてきた。地域の一員としての自覚や地域に積極的に関わろうとする態度の育成につながった。学年によっては、地域の方との直接対話を通して、より自分の地域学習の探究課題にせまる学習に取り組むことができた。

本校の学力向上のテーマである「自分の考えの根拠を明確にして表現する」ことにおいて、全職員が研究授業に取り組み、本校生徒の学力向上の課題に丸ごと取り組むことができた。そのうち、代表授業2教科(今年度は、数学・保健体育)において、夏季休業中に単元構想の段階から、教科指導に携わる職員全員で指導案づくりに取り掛かることができた。それにより、教科の壁を越えた議論が活発に行われ、授業づくりの機運を一層に高めることができた。また、「自分の考えの根拠を明確にして表現する問題」において、2学期末の定期テスト・単元テストの正答率または評価達成率が、年度当初に比べ10%上昇を達成することができた。

家庭学習の習慣化については、本校生徒の実態に応じた「学習の手引書」を作成・配付し、学ぶ意義や目的を十分に理解させた上で、定着を図ってきた。特に2学期は、「見通しをもち準備できる生徒の育成」を重点課題とし、学校全体で、主体的に学習に取り組む態度の育成に取り組む、校訓追求評価においても目標を達成できた。しかし、依然として生徒と教師の評価に差がある。今年度作成した学習の手引書の活用状況、学習計画力、学習修正能力を高める指導の展開に課題を残しているところから、生徒自身の主体的な学びによって自分の考えの根拠を明確にして表現する力が高まる「自立した学び手を育てる」教科研究に取り組む。